

檀原市立図書館だより

平成22年7月1日発行
第20号

檀の樹

目次:

銀河鉄道の夜
2～3

夏休みの読書
4～5

図書館員の本棚
6

檀原市子ども読書活
動推進計画
7

図書館の利用状況
8



銀河鉄道の夜

旅も 物語も 夜の駅から始まりました



宮沢 賢治(みやざわ けんじ)
1896－1933
岩手県花巻生まれ。盛岡高等農林学校(現岩手大学農学部)卒。花巻農学校等に勤務。羅須地人協会を設立して農村の生活向上に取り組んだ。詩集「春と修羅」、童話「注文の多い料理店」など著作多数。

1923年(大正12年)7月31日夜、宮沢賢治は岩手花巻から青森行の列車に乗車しました。津軽海峡を越えて北海道を縦断し、稚内から当時日本領であった樺太(サハリン島)へ渡ります。同窓の製紙会社員に面会し、教え子の就職を斡旋するためでした。交通事情が現在とは大きく異なる当時、賢治はこの旅に13日を費やしました。北国の短い夏の終盤、夜汽車を乗り継いで単独で異郷へと旅立つ賢治のこの行程は、親友を失った少年が銀河を巡るあの不思議な物語を連想させます。

東京への遊学を除くと、教師生活や砕石工場の技師としてサラリーマン生活に終始した賢治にとっては、ほとんど唯一といってよい大きな旅でした。その真の目的や前後の事情は、後年の研究者によって様々に議論がなされています。詳細は専門家に委ねるとしても、一読者にもおぼろげながら見えてくるのは、旅の前年に24才で早世した妹トシとの関係です。悲しみの深さは、「永訣の朝」「無声慟哭」などに直接的な形で作品化されているように、彼のその後のあゆみに影響を与えたことは間違いありません。

宮沢作品を特徴づけるのは、豊かなイメージ喚起力と、宇宙観とでも呼ぶべき広く深い視点ではないでしょうか。このことから、空想や幻想に依って作品を多産した人物だと思われがちですが、岩手山の風景と恩師の風貌は「グスコブドリの伝記」に、鉛温泉の雰囲気は「なめとこ山の熊」というように、現前する人物や風物を丁寧にすくい上げ、モチーフやテーマに昇華して作品を紡ぎ出すのが賢治の常でした。そうした意味で、「銀河鉄道の夜」は、彼の多数の作品群のなかでも、最も強く自己の体験が投影された作品のひとつといえるのではないのでしょうか。

北辺の異郷で、実際に賢治が眼にしたもの、感じ取ったものは何だったのか……。それは、海霧でかすむ風景のようにとりともなく、今となっては誰にも正確に把握することはできません。しかし、注意深く眼を凝らせば、霧の向こうからかすかな輪郭が浮かび上がってくるように、彼が残した諸作品を読み込むことで見えてくるものがあるのかもしれない。旅の翌年、賢治は「銀河鉄道の夜」の執筆を始めます。

真面目だが暗い……といった印象を持たれがちな賢治ですが、愉快な人柄で、生徒たちや地元のひとびとに人気があったそうです。食パンをリュックに背負って登山に出かけ沢水を飲みながらたいらげたり、当時めずらしかったレコードの鑑賞会を開いたり、愉快的逸話が幾つか伝えられています。「どんぐりと山猫」や「セロ弾きのゴーシュ」といった作品にも、あたたかいユーモアはふんだんに盛り込まれていると思います。賢治の作品の中では、例えば「注文の多い料理店」に登場するあのキザで嫌味な鉄砲射ちたちがそうであるように、悪役や敵役ですら、憎みきれない不思議なユーモアに彩られてしまうのではないのでしょうか。

☆ ☆ ☆

夏は、夜空を見上げるのにふさわしい季節です。七夕、ペルセウス座流星群、天体観測会……。でももし、そうした催しに出かける計画がなかったとしても、天候に恵まれずに屋外に出てゆくことができないとしても、おとなと子どもが会話をすることは可能です。「そういえば、『銀河鉄道の夜』という物語があるのだけれど……」夏の夜の一刻、一冊の本を片手に、子どもたちにそう語りかけていただくのはいかがでしょう。(だ)

No
Image

「ツェねずみ」
宮沢 賢治 作
石井 聖岳 絵
三起商行(ミキハウス)

不都合が起こるたびに「償(ま
と)うてください。償うてください」
と他者に責任を転嫁しているツ
ェねずみ。次第に誰からも相手
にされなくなります。その利己
心が引き金となって、ついには
ツェねずみ自身が償わなければ
なりません。人の世の
冷やりとした厳しさが読後感に
残ります。

No
Image

「光村ライブラリー中学校編 5
朝のリレー」
谷川 俊太郎 他
光村図書出版株式会社

教科書出版の老舗が、これ
まで収録してきた詩だけを集
めて編んだ一冊です。賢治
の「雨ニモマケズ」の他にも、
石垣りん「私の前にある鍋と
お釜と燃える火と」や高村光
太郎「あどけない話」、黒田
三郎「紙風船」など、ある世
代にとっては懐かしい一冊。
親子で、または祖父母と孫で
も楽しめる一冊では？

No
Image

「斉藤孝の音読破3 銀河鉄
道の夜」
宮沢 賢治 作
小学館

表題作の他に、「セロ弾きの
ゴーシュ」「春と修羅」「永訣の
朝」「雨ニモマケズ」「なめとこ
山の熊」「無声慟哭」などの主
要作品が収められた選集で
す。活字も大きく、すべての
漢字にはふりがなが振られて
います。

No
Image

「読書が楽しくなる日本の文
学 生きるって、カッコワルイ
こと？」 宮沢 賢治 他
くもん出版

賢治ほど動物や異界の存在
を擬人化することに巧みだっ
た作家は稀なのではないでし
ょうか。本書に収録の「猫の事
務所」も巧みな作品です。先
輩たちから目の仇にされなが
ら、それでも懸命に働く「かま
猫」。嘲笑や嫉妬が繰り返され
た果てに……。選集のため、
菊池寛「形」、梶井基次郎「檸檬」、
有島武郎「一房の葡萄」
等も収録されています。

No
Image

「なめとこ山の熊」
宮沢 賢治 作 あべ 弘士 絵
三起商行(ミキハウス)

命を絶つ冷たい銃口を熊
たちに向けなければなら
ない猟師には、生活の糧
である自然に対する深い
畏敬の念が培われてきま
した。豊かな商家の後継
者に生まれた賢治ですが、
冷害や貧困に喘いで
いたひとびとへの温かい
眼差しが、作品を生み出
す土壌となっています。

No
Image

「The Bears of Mt. Nametoko」
Translator: Karen Colligan-Taylor
Illustrator: Masao Idou
IFLC

財)国際言語文化振興財団
が宮沢賢治記念館等の協
力を得て、作品の翻訳に取
り組みました。本書の他に
も、当館には、「貝の火」「雪
渡り」「虔十公園林」「双子
の星」「どんぐりと山猫」「水
仙月の四日」等の英語版も
所蔵しています。日本語版
と読みくらべてみるのも楽し
いかもしれません。

橿原市立図書館では、7月1日から8月29日まで、所蔵図書の夏休み特別展示「夏休みに読んでほしい本」展示を1F展示コーナーでおこなっています。読書のためのまとまった時間をつくるのに最適なこの時期、特に子ども達に手に取っていただきたい「季節の絵本」や「おすすめ図書」を選書しました。併せて、ミニコーナー「宮沢賢治」も展示します。

夏休みの読書

「図書館だより」「PTA 新聞」「おしらせチラシ」などでご紹介した図書の再録です。夏休みの読書の予定にお役立ただけであれば……。

幼稚園児～ 向き

つぐみ鳥のウィリーは、自分が他の仲間とは違うことに気がきました。歌うことがとてもうまかったのです。その才能を試すため、都会の博物館へと出発します。作者のノーマン・ロックウェルは、古き良きアメリカの日常風景を切り取ったイラスト絵画でおなじみです。本書は彼が残した唯一の絵本です。

No
Image

「ウィリーはとくべつ」
ノーマン・ロックウェル 絵
とお話 紀伊国屋書店

小学校低学年～ 向き

一緒に泳いだり同じものを食べたりできなかつたら、友達じゃない……？ ドーナツ池にやってきたキンギョは、他の魚たちのようにふるまえず、友達ができません。そして、変わり者のドジョウも、やっぱりひとりぼっち——。「ともだちなんて、めんどくせーなあ」と強がってみても、やっぱりさびしい。ともだちは、ほしい？ ほしくない？ そんなふたりが出会います。

No
Image

「キンギョのてんこうせい」
阿部 夏丸 作
講談社

小学校中学年～ 向き

霧の谷へやってきたリナ。そこには外国風の6軒の家がありました。住人は、「魔法使いの子孫」という風変わりなひとびと——。下宿のおばさんから「働かざるもの食うべからず」と励まされ、様々な店で働きながら成長してゆきます。20年以上も読み継がれている宝石箱のようなファンタジーです。

No
Image

「霧のむこうのふしぎな町」
柏葉 幸子 著 講談社

小学校中学年～ 向き

今、地球にどのくらい人がいるか知ってる？ 50 億人以上。そんなにたくさんの方がいても同じ人っていないよね。生まれた時から、ひとりひとり違っているんだ。この地球には様々な考え方をを持った人々があり、多種多様な民族、言語、文化、風習等がある。そんな、多種多様な価値観を認めることの大切さを考えさせてくれる一冊です。

No
Image

「せかいのひとびと」
ピーター・スピア／絵と文
(評論社)

小学校中学年～ 向き

争いごとが苦手なキリン。神様から毛皮をもらう時も、のんびりのんびり……、結局、残り物のさえない土色になってしまいました。草原が火事になった時も、心やさしいキリンは、ウシツツキの卵のために急いで逃げる事ができません。なぜキリンが現在のうつくしい網目模様になったのか。なぜウシツツキはキリンの毛皮を守る役を引き受けているのか……。他にも楽しい2編を収録。

No
Image

「おめでとうのおはなし」
山下 明生、角野 栄子、
斉藤 洋 作 講談社

小学校高学年 向き

オオカミ王ロボの気高さは、そのままシートンが抱いた自然界への畏敬の念であり、彼が目指した人間との共生を表出させたものといえるでしょう。また、「アカエリウズラの物語」で描かれた残酷な人間像。動物たちの世界をあたかも人間の世界のように擬人化して描くことで、人間自身ももっと動物たちの世界を見つめなおさなければならないと訴えかけているようです。

No
Image

「シートン動物記」
藤原 英司 訳
集英社

中学生 向き

香緒が中学生になってまもなくできた無二の親友、ちなみ。しかし、ある事件をきっかけにふたりの関係は崩れてゆく……。大学院生のいとこ知里とその友人り子、対照的なふたりの関係を通じて香緒はさまざまなことを学んでゆく。「だれかと知り合って、たとえ離ればなれになっても透明な糸がちゃんと残る」

No
Image

「透きとおった糸を伸ばして」
草野 たき 著
講談社

中高生～成人 向き

鉱物の結晶のように硬質で冷ややかな文体を持つ著者は、科学の冷静な「語りべ」としても適任なのではないでしょうか。7人の著名科学者を訪ね、それぞれの専門分野の最先端の学説について紹介してくれます。専門家の学術的な解説ではなく、小説家の語りを通じて説明される最先端の学説は、要点を踏まえてわかりやすく、多くの「数学嫌い」をとりこにしたあの「博士の愛した数式」と同様の親しみやすさを感じます。

No
Image

「科学の扉をノックする」
小川 洋子
集英社

高校生～成人 向き

母親不在の息子とその父親の暮らしが、おだやかで明るい江の島の風景の中で展開してゆきます。5才のクイちゃんが素晴らしい。おとなの常識を超えてゆく鮮やかな言動に、何度もうっとりしてしまいます。小説なんてもう何年も読んでいない。仕事や子育てでそれどころではない、という方にこそ読んでいただければ……。

No
Image

「季節の記憶」保坂 和志 著
中央公論新社 中公文庫

図書館員の本棚(10)

『ローカル線ガールズ』

嶋田 郁美／著(メディアファクトリー)

福井市中心部から勝山市や坂井市を結ぶ『えちぜん鉄道』は、乗客をサポートする『女性アテンダント』が乗務している、全国的にもめずらしいローカル線です。「ひとを大事にすれば、自ずと結果も出てくる」という新しい発想の経営がなされています。

2001年まで京福電鉄が運行していましたが、二度の事故を境に、2003年から第三セクター路線として再出発しました。その際導入されたのが「アテンダント制」です。経費の無駄使いのようにも思えますが、乗客へのサービス向上や運転士の負担軽減のみにとどまらず、アテンダントの存在自体をPRポイントにするという、発想の転換を取り入れた運営がなされています。

彼女達は、車外の沿線事情にも目配りや気配りを心がけ、乗降客の質問や案内に的確に応えられるよう、日々精進しているそうです。運賃や便数だけでなく、彼女達の接客サービス自体が鉄道業務の一部であり、地域住民から愛される大きな理由となり、乗客数の維持や拡大につながっているのでしょう。

プライスレスな価値観を見つめ直すこと、多大な宣伝活動に没入するのではなく、ささやかなホスピタリティの向上を心がけることが、接客業や観光業だけでなく、行政や図書館運営を含めたあらゆる分野に求められる時代になっていくのではないのでしょうか。

「鉄道」は、かつてはそこで働くひとびとも、ファンも、「男ばかり」という感じがしたものでしたが、最近は少し様子が異なるようです。改札や車内で女性スタッフを見かけることも普通のことになりました。また、『鉄子』と称されるように、かつては皆無であった若い女性の鉄道ファンも増加しています。

道路や空路の発達により、鉄道の劣勢が思われる昨今ですが、一方では、南海電鉄から両備グループ(岡山市)へ経営譲渡された和歌山電鐵（あの「ねこ駅長」で有名な鉄道です！）など、全国各地で頑張っているローカル線や尽力されている女性も、少しずつですがクローズアップされてきています。低炭素社会への有力なアプローチのひとつとして、海外各国でも高速鉄道網の計画が浮上するなど、鉄道の価値も見直されつつあります。

この夏は、激しい渋滞を避けて、頑張るローカル線を楽しむ旅もお薦めです。(呉)

No
Image

「ローカル線ガールズ」
嶋田 郁美
メディアファクトリー

No
Image

「自選 南蛮阿房列車」
阿川 弘之
徳間文庫

No
Image

「鉄道愛 [日本篇]」
小池 滋 編集解説
晶文社

平成21年度 檀原市子ども読書活動推進計画について(抜粋)

◆ブックスタート

平成19年4月より、健康増進課が毎月2日間を充てて実施している1歳6ヶ月健診と連動する形で新規事業として実施しました。赤ちゃん絵本の読み聞かせ実演と、使用絵本のプレゼント、重ねて読書や子育て関連パンフレット類の紹介と配布をおこないました。(健康増進課、児童福祉課子育て支援室、檀原おはなしの会、図書館ボランティア、図書館)

平成21年度実績 のべ24日間 のべ1,067人 使用絵本 「おつきさまこんばんは」「がたんごとんがたんごとん」「しろくまちゃんのホットケーキ」

平成22年度については「しろくまちゃんのホットケーキ」→「ここよここよ」に変更

No Image

No Image

No Image

◆団体貸出

① 檀原文庫連絡会、各種団体、保育園など 7,861 冊

② 檀原市立小学校等(市内14小学校) 11,760 冊

他、「親と子のふれあい広場」「平和の集い」等各催しへの貸出

◆職場体験・社会見学・インターンシップなど

① 職場体験 檀原市立6中学校の22人の中学2年生に実施 のべ14日間

② 図書館見学 檀原市立10小学校843人の小学3年生に実施
檀原市立小中学校着任教諭研修会(図書館見学)
他自治体公立学校等3校 など

③ インターンシップ 県立高等養護学校3年生(1名)
県立榛生昇陽高等学校2年生(3名) のべ7日間



子ども読書の日イベント
親子で楽しむ読書



図書館ボランティア(修理班)研修

◆図書館でのおはなし会

図書館(含ボランティア)実施分	のべ23日	のべ302人
檀原おはなしの会実施分	のべ20日	のべ202人
ミニおはなし会	のべ19日	のべ102人
絵本の時間(赤ちゃん絵本)	のべ48日	のべ523組

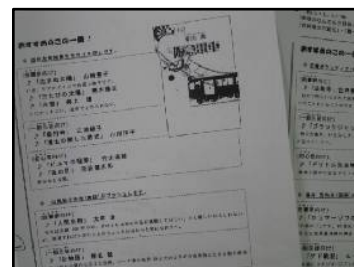
その他、地区公民館、各催事イベントへの出張おはなし会や紙芝居など。

◆図書館ボランティア 修理班 のべ 475 時間 のべ192人
おはなし班 のべ 50.5 時間 のべ 35人
(含上記おはなし会)

◆学校教育 その他

各学校・幼稚園・保育所(園)では、学校支援ボランティアやおはなしの会等と連携しながら、様々な取組が始められています。

- ・(学校支援ボランティアによる)図書の修理
- ・(おはなしの会等による)おはなしの配達
- ・図書館システムの活用
- ・教科の調べ学習
- ・読書活動
- ・絵本や紙芝居の活用
- ・朝の読書
- ・学校新聞紙上での読書案内の掲載 など



校長先生(中学校)の読書案内

檀原市立図書館

〒634-0075
檀原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-21-1011

http:
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

編集後記

ある感想

6月7日の夕刊に、宗教学者の山折哲雄さんが「いのちと食と賢治」という一文を載せていた。宗教に限らず、現代社会の事象について鋭く言及してきた山折さんは、浄土真宗本願寺派の僧籍を持っておられる。文中に興味深い引用があった。▼『命を断って命をつなぐのが、おれの仕事。出荷して殺されるのは何とも思わないが、このように殺されるのは見るに堪えない』——。口蹄疫で被害を受けた畜産農家の悲痛な呻きと併せて、山折さんは宮沢賢治の一文も紹介している。『熊。何も好きこのんでお前を殺すのではない。そうしなければ生きてはいけないからだ』(なめとこ山の熊)。生きるためにカブト虫を殺し続けなければならない苦悩を描いた「よだかの星」など、「いのち」をテーマにした作品が賢治には多い。▼動物や異界の存在を擬人化し、かりそめの時空を設定して物語を成立させた賢治だったが、彼が単純な夢想家でなかったことは確かである。賢治は裕福な古着商の家に育ったが、顧客の多くは恵まれない小作農の人々だった。教師という恵まれた職についたが、生徒や父兄には冷害や貧困に喘いでいる者が多かった。心やさしかった賢治が、そうした現実に傷ついていったであろうことは、容易に想像できる。▼詩作や童話の創作に専念したのは、現実との危うい平衡感覚だったのではないか。もし賢治の手法がリアリズムやノンフィクションであったとしたら、彼はそのやさしさと自身の胸を刺し貫いてしまっていたかもしれない。他者の苦しみを共有しようともするように、鋤や鍬を取って自給自足の生活に入ったが、衰弱を重ねていった。作品を読んでいると、つらくなる時がある。(館長)

檀原市立図書館の利用状況(平成21年4月～22年3月末)

個人貸出について

新規登録者数 成人(16歳以上) 2,018人
児童(15歳以下) 1,345人

貸出数 一般書 308,767冊
児童書 178,284冊
雑誌 22,896冊
図書・雑誌貸出合計数 509,947冊

ビデオテープ 16,171点
コンパクトディスク 25,354点
カセットテープ 816点
DVD 4,617点
視聴覚資料貸出数合計 45,958点

個人貸出数合計 555,905点

予約受付数 一般書 21,173冊
児童書 2,823冊
雑誌 2,652冊
予約数合計 26,648冊

資料数について

一般書(個人貸出用) 223,517冊
児童書(個人貸出用) 58,605冊
個人貸出用冊数合計 282,122冊
一般書(団体貸出用) 8,164冊
児童書(団体貸出用) 24,472冊
団体貸出用冊数合計 32,636冊
図書冊数合計 314,758冊

ビデオテープ 2,873点
DVD 293点
コンパクトディスク 4,119点
カセットテープ 531点
視聴覚資料点数合計 7,816点
雑誌 122タイトル
新聞 14紙

募集 手づくり絵本教室

日時 8月4日(水)5日(木)
13:00～15:00

場所 かしはら万葉ホール4F
研修室2

講師 金尾 恵子 先生

締切 7月22日(木)

対象 市内在住の小・中学生とその保護

者70名。

ただし、2日とも参加できる方に限ります。また、応募多数の場合は、初めての方を優先します。

受付 7月1日(木)から直接カウンターで受け付けます。

(電話申し込み不可)

発表 7月24日(土)館内掲示板、HPにて。電話問い合わせ可。

表紙の写真

檀原市立図書館では、夏休みの時期に「手づくり絵本教室」を開催しています。昨年の記録写真から、指導講師の補助を務めていた図書館員に、完成目前の自作を開き、「読み聞かせ」を始めてくれた小学生。今年も様々な出会いがあることを願っています。